

サフ、フラワーの品種パシフィック及 ネブラスカの春まき秋まき栽培について

末澤一男・安部秀男・多田正敏

以上の本試験の結果では秋播が最も多収を示し且つ冬期の乾燥、低温に良く耐え、油量の生産、子実の収量、含油率は米国の成績に劣らず、良好なる結果が得られた。

品種では早生の品種でトゲがないものが望まれるがこの点では PacificNo.2 がトゲが少く、子実の生産量、早熟性、耐病性からも最も有望と思われた。

今後の問題点としては登熟期における早魃防止の面からも播種期を早めて、現在より少なくとも1ヶ月早くして6月上中旬に収穫出来るように栽培法と品種の改良を行う必要があると考えられ、更にトゲなし品種の育成と収穫方法について考究する必要があると考えられる。